

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	坂本 典光	峯下 啓史	中山 直之	清原 さおり	大塚 勝二	村山 龍一	大橋 一郎	田代 元気	時松 智弘	西川 秀貢	大塚 益雄	三宮 美香	山部 良二	山本 富二夫	豊瀬 和久	佐藤 真二	賛成 ○	反対 ●
土地の取得について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
令和7年度大津町工業団地整備事業特別会計 補正予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索



本会議動画配信



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

 山部 良二 議員	問 町民が台風など災害時に、町内のホテルへ避難される場合や大規模災害の際、近隣市町村の人が町内のホテルを利用する際にも宿泊税を徴収するのか。また、学校行事などで宿泊する児童・生徒・学生から同じように宿泊税を徴収するのか。	答 学校行事や避難所として活用した場合の宿泊税については、先進地事例も参考にしながら慎重に検討していく。
 豊瀬 和久 議員	問 医療費抑制のためには、医療データや健康データの取得・分析と、その結果に基づいた適切な施策を実施すべきではないか。	答 施策にあたっては、データ分析は大変重要だと思っているので、どのようなやり方が良いのか検討に必要に応じて予算化していきたい。
 西川 秀貢 議員	問 子育て応援商品券は、価格高騰の影響が大きい妊婦や子育て世代の負担軽減のためであるが、利用を町内限定とすることで、町内事業者の経済支援にもつながると思う。目的と効果まで説明しないと町の姿勢、思いが伝わらない。	答 この事業を策定する際、物価高騰などで苦しみ子育て世代の支援を週し、町内の事業者にもメリットがある施策をしたいと町の思いがあった。町内限定にしたことで、経済対策も含め、その気持ちはしっかりもっている。
 大塚 益雄 議員	問 体育館空調設備導入で、災害時あるいは停電時と使用可能なフル稼働で72時間、3日間は大丈夫という事であるが、想定外も考えられる。例えば、4日以上電気が復旧しない場合、町はどう考えているのか。	答 72時間を設計の基準としている。これは、災害発生後、72時間で国や地方自治体の支援が本格的に始まる時間での設定である。また、ガスの供給は町内の供給事業者で可能であると考えている。
 田代 元気 議員	問 大津小学校増築棟検討設計業務について、灰塚や新地区など遠距離通学をしている児童もいることから、南小の建て替えと並行し校区の見直しも行っていくべきではないか。	答 校区の見直しについて、これまで町として主体的に動いた事業はないが、今後、必要な事項だと考えている。町長、教育長とも相談し方向性を決めていきたい。
 大塚 勝二 議員	問 町で使っている健康測定器(インボディ)は正確なデータが取れなくなった機械である。その成果を医療の専門家へ交えて町民の健康づくりを評価し、今後の健康づくり事業に活かす予定はあるのか。	答 専門的見地を取り入れて、健康づくり事業の評価などをする中で検討課題の中に取り入れて活かしていく。
 時松 智弘 議員	問 大津小学校の学童保育施設の周辺をかさ上げし、雨水時の冠水を緩和するとの説明だが、かさ上げた水はグラウンドに流れる。学校からも結構改善の声を聞く。グラウンドの冠水改善を学童の施設のみならずできないものか。	答 職員が、すべての学校を回って施設の点検を行う予定であり、グラウンドの件も含め、その時に詳しく話を聞く。
 山本 富二夫 議員	問 防災設備倉庫内に常時数量確認を行うために整理棚を設置するという事だが、倉庫を最大限利用するためには、多段階の整理棚が必要だ。将来的にはフォークリフトの導入を考えるべきだ。	答 備品棚の購入は現在、入っている備品の数量や大きさなどに応じた備品棚の購入数を考えている。フォークリフトについて、現在考えていない。しかし、使いやすいのであれば検討する。
 村山 龍一 議員	問 県営事業負担金の矢護川地区の838万円のほじょう 園地整備の内容はどうなっているのか。	答 園地整備事業の工事費や調査調整に係る事務費などの負担金と工事期間の休耕補助金で、矢護川の上中地区、約7ヘクタールで工事を実施予定。稲刈りが終わってから来年の田植の前までには終わらせる予定になっている。
 佐藤 真二 議員	問 JAの人参選果場への補助金は、菊陽町より大津町の補助割合が低い。大津町の人参生産量が増加してきている中で、将来、町の生産者が不利になることはないのか。	答 負担割合は菊陽町・JAと協議を重ねた結果であり、今後、不利になることはない。

令和7年度補正予算が成立しました

6月定例会は、6月4日から13日の10日間の会期で開催され、町長提案の一般会計をはじめとする議案8件、最終日に追加された議案2件の

計10件が審議され、可決されました。

また、一般会計では約27億円が増額補正され合計185億9539万6千円となりました。



主な内容

子育てを応援

- ・学童保育施設補修工事
- ・子育て世帯訪問支援事業委託
- ・子育て応援商品券事業

603万円
74万円
3907万円

高齢者福祉を充実

- ・ユニバーサルデザインe-スポーツ事業
- ・一般介護予防教室業務委託(健康まる塾)〈介護保険〉

44万円
43万円

運動の習慣化を推進

- ・健康推進事業委託(トレーニングジム個別指導)

26万円

観光を推進

- ・岩戸溪谷遊歩道復旧工事追加測量設計業務委託

400万円

今回の予算は肉付け予算となります。上に挙げた予算以外にも様々な事業予算が上程され可決となりました。

議 場
ASSEMBLY HALL